

## 魅力ある会計学

公認会計士・監査審査会会長  
千代田邦夫

### ■ 財務ディスクロージャー制度と会計学

- ・財務会計制度のフレームワークを理解すること
- ・会計学の科目の関係を理解すること

### ■ 会社の「実態」とは？

「一般に公正妥当と認められる企業会計の基準」の理解

- 2001年 国際会計基準審議会 (IASB : International Accounting Standards Board) の改編
- 2005年 EUが域内の上場企業 (約7,000社) に対して「国際財務報告基準」(IFRS) に準拠した連結財務諸表の作成を要求
- 2008年 SEC (米国証券取引委員会) は2011年までに国際財務報告基準の採用を認めるかどうかの判断を行うことを決定→現在中断
- 2009年 日本一上場企業の連結財務諸表に国際財務報告基準を強制適用するかどうかの判断の時期を2012年を目途とする。金融庁は一定の企業の連結財務諸表に対して2010年3月期から国際財務報告基準の任意適用を認める。
- 2013年 企業会計審議会は、当面、「我が国に適したIFRS」の開発を進めると表明
- 現在 IFRS を要求または容認している国は約 120 カ国。“G20” (主要 20 カ国・地域) では、EU、中国、フランス、ドイツ、イギリス、ロシア、カナダ、オーストラリア等 17 カ国が主に上場企業に IFRS を適用、米国と日本は限られた範囲で任意適用。

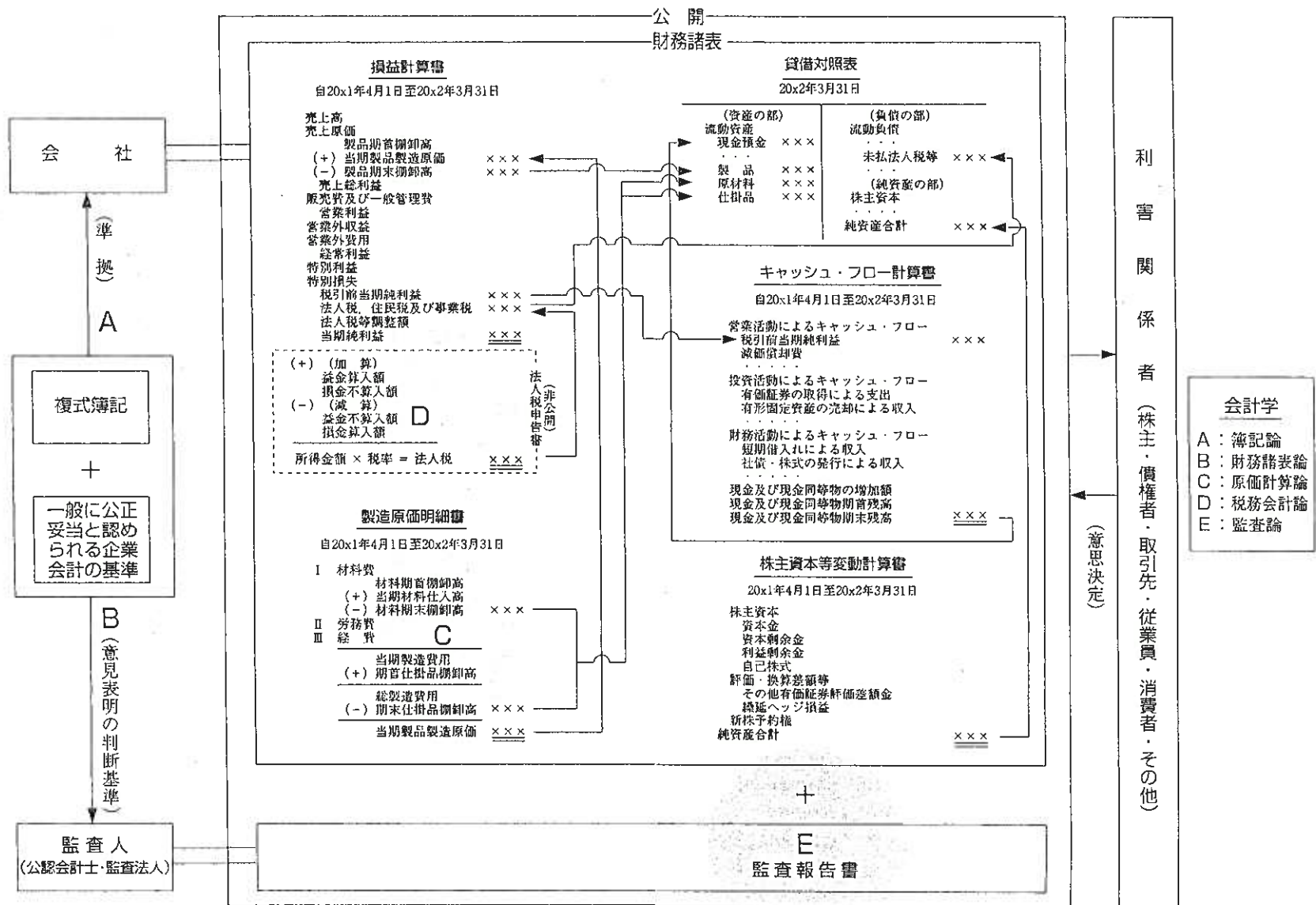
### ■ 会計人の活動フィールド —— 世界に広がっている

- ① 監査法人、公認会計士事務所、税理士事務所、
- ② 企業 (経理・財務担当、組織内会計士・税理士)、コンサルティング会社
- ③ 政府機関 (国税局、税務署、財務局、金融庁等)
- ④ 証券取引所、アナリスト、格付機関等
- ⑤ 大学・会計大学院、研究所
- ⑥ 国連、OECD、国際銀行等

### ■ 公認会計士を目指す諸君へ

千代田邦夫著『闘う 公認会計士—アメリカにおける 150 年の軌跡』(中央経済社、2014 年) をお読み下さい。

〔資料1〕 財務ディスクロージャーと会計の仕組み



+

**E**  
監査報告書

会社

標準 A

複式簿記

+

一般に公正  
妥当と認め  
られる企業  
会計の基準

B (意見表明の判断基準)

監査人  
(公認会計士・監査法人)

利害関係者 (株主・債権者・取引先・従業員・消費者・その他)

(意思決定)

会計学

A : 簿記論  
B : 財務諸表論  
C : 原価計算論  
D : 税務会計論  
E : 監査論

## 千代田邦夫 略歴

1944年1月	埼玉県に生まれる
1966年3月	早稲田大学第一商学部卒業
1968年3月	早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了
1968年4月－1975年3月	鹿児島経済大学助手、講師、助教授
1976年4月－1984年3月	立命館大学経営学部助教授
1984年4月－2006年3月	立命館大学経営学部教授
2006年4月－2009年3月	立命館大学大学院経営管理研究科教授
2009年4月－2012年3月	熊本学園大学大学院会計専門職研究科教授
2012年4月－2013年3月	早稲田大学大学院会計研究科教授
2013年4月－現在	公認会計士・監査審査会会長 経営学博士、公認会計士
1973年－74年	チュレイン大学大学院留学
1981年－82年	ライス大学客員研究員
1992年－93年	アメリカン大学客員研究員

## 著書

- 『闘う 公認会計士－アメリカにおける150年の軌跡』中央経済社、2014年3月  
『新版 会計学入門－会計監査の基礎を学ぶ』（第3版）、中央経済社、2014年2月  
『監査役に何ができるか？』（第2版）、中央経済社、2013年3月  
『現代会計監査論』（全面改訂版）、税務経理協会、2009年2月  
『会計学入門－会計・税務・監査の基礎を学ぶ』（第9版）中央経済社、2008年3月  
『貸借対照表監査研究』中央経済社、2008年1月  
『日本の会計』上海財経大学出版社、2006年4月  
『課長の会計道』中央経済社、2004年4月  
『アメリカ監査論－マルチディメンショナル・アプローチとリスク・アプローチ』  
中央経済社、1994年12月  
『公認会計士－あるプロフェッショナル100年の闘い』文理閣、1987年12月  
『アメリカ監査制度発達史』中央経済社、1984年3月

日経・経済図書文化賞、日本会計研究学会太田賞

日本内部監査協会青木賞、日本公認会計士協会学術賞、辻 眞会計賞